

資料 1

令和5年8月8日
第1回神戸市総合教育会議

学習用パソコンの活用状況について



G I G A スクール構想

- ◆ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ◆ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて、学習用パソコンをはじめとしたICTを最大限活用することで、**情報活用能力の育成**とともに**新たな「学び方」の定着**を図る



学習用パソコン導入の概要

◆ 導入時期

令和2年11月（小6・中3）～令和3年2月（他学年）

◆ 導入台数

12万台（予備機含む）

◆ 導入経費

113億円 【内訳】 国庫補助 33億円、一般財源 80億円
（※うち交付金36億円）

◆ 学習用パソコンの種類

Windowsパソコン（キーボード脱着式）
（※特別支援学校のみiPad）



学習用パソコンの活用事例

カメラ機能の活用



資料作成

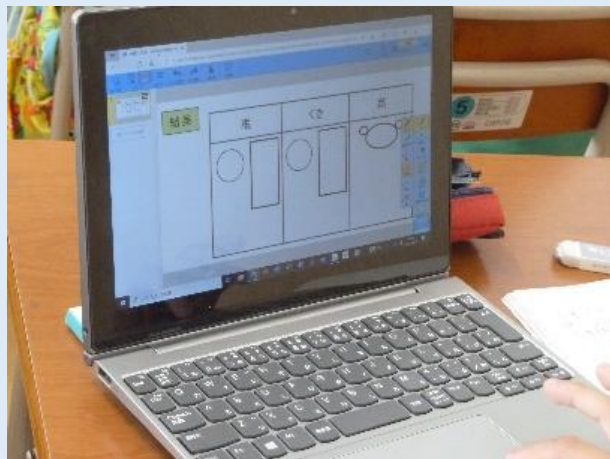


説明・共有



学習用パソコンの活用事例

ノートの代用



グループでの 共同編集



オンライン交流



学習用パソコンを活用した授業①

小学校 5年 外国語

- ①プレゼンの資料を作成する
- ②プレゼンを使い、友達と発表し合う

学習用パソコンの活用に向けた取組み

✓ 神戸GIGA授業づくり通信（R3～）

学校向けに、実践例や活用に向けたアドバイスなどを発信（～R5.7月で77号）

✓ 支援員の配置（R3～）

端末操作の支援や年度替わりに伴う端末動作の確認・準備等を行う支援員を配置

✓ コロナ禍でのオンライン学習支援（R3～）

学校支援：オンラインによる学習計画モデルの提示

Microsoft Teamsのマニュアルの提示、個別訪問による支援や研修の実施

保護者支援：「学習用パソコンにおける操作等のQ&A集」の配布



学習用パソコンの活用に向けた取組み

✓ 授業の実践例の共有（R4～）

学習用パソコンを活用した事例を教員用ポータルサイト（KOBEX）に掲載

✓ 個別の支援や指導の強化（R4 2学期～）

活用が進んでいない学校に対して、事務局が個別に支援・指導

✓ 「学習用パソコンを活用した情報活用能力の体系表」の作成（R4～）

校種、学年ごとに学習用パソコンの具体的な活用方法をまとめて体系表として提示

✓ 授業パッケージの開発（R5～）

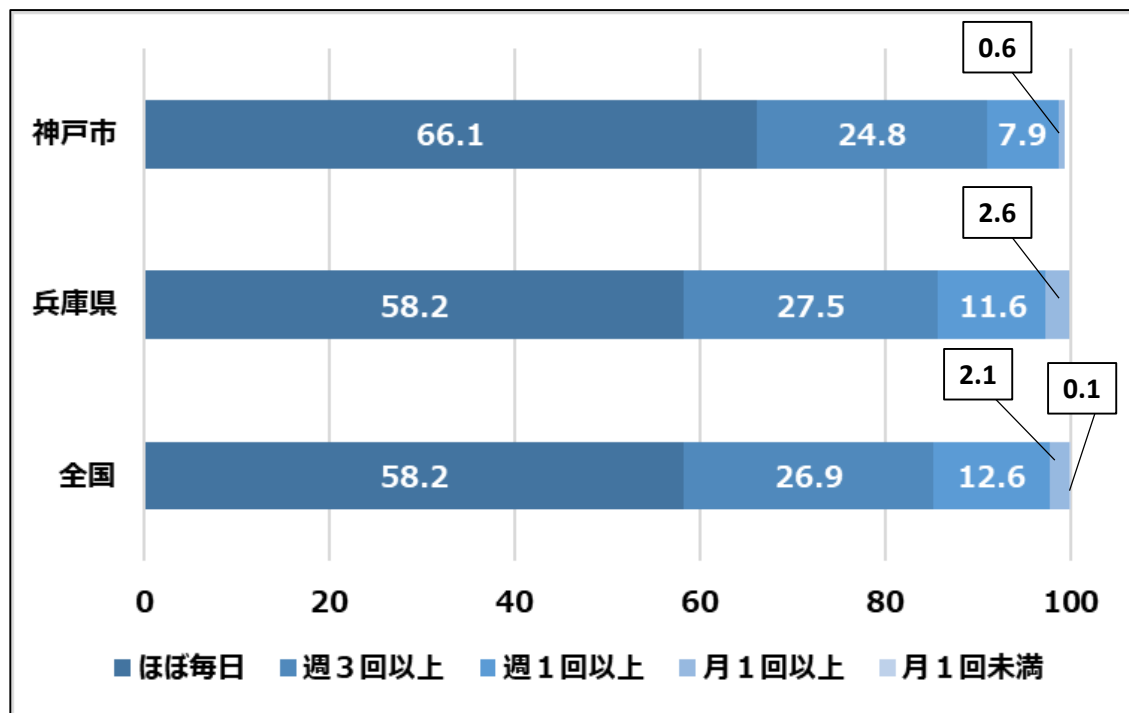
学習のまとめりごとに学習計画案、毎時間の指導案、資料や解説動画、ワークシート、評価方法などのコンテンツをパッケージ化



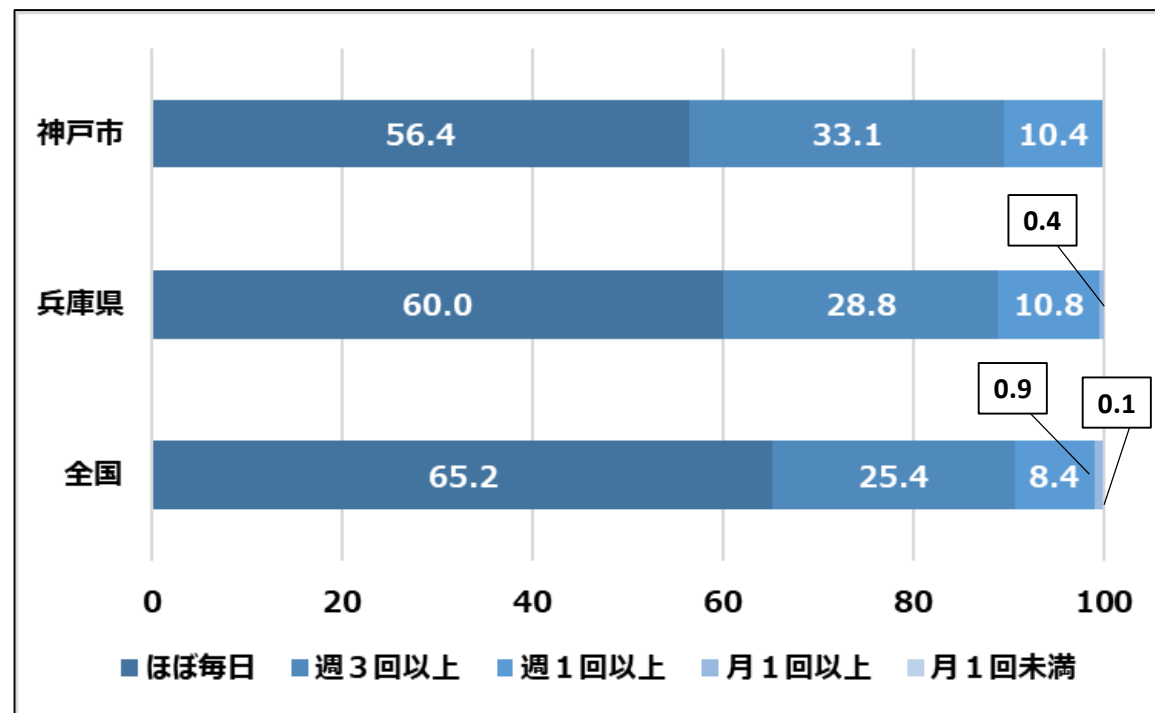
授業での学習用パソコンの活用状況

前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業での程度活用しましたか。（小学校・学校回答）

【R4年度調査】



【R5年度調査】

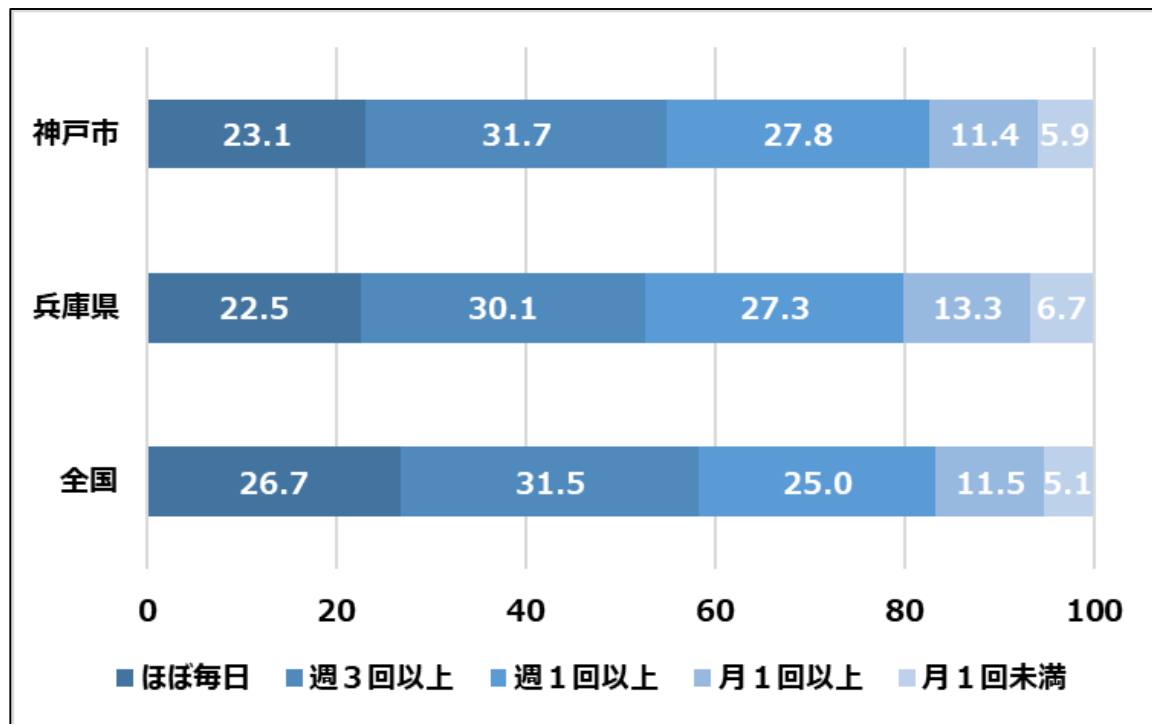


（全国学力・学習状況調査より）

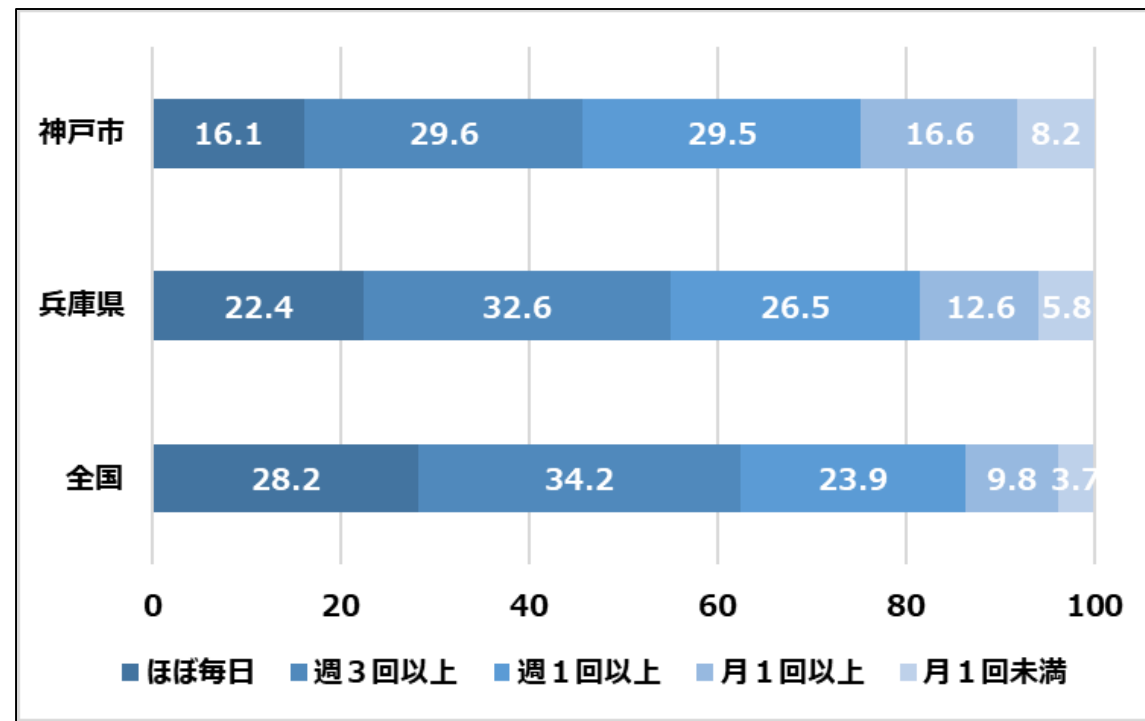
授業での学習用パソコンの活用状況

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。（小学校・児童回答）

【R4年度調査】



【R5年度調査】

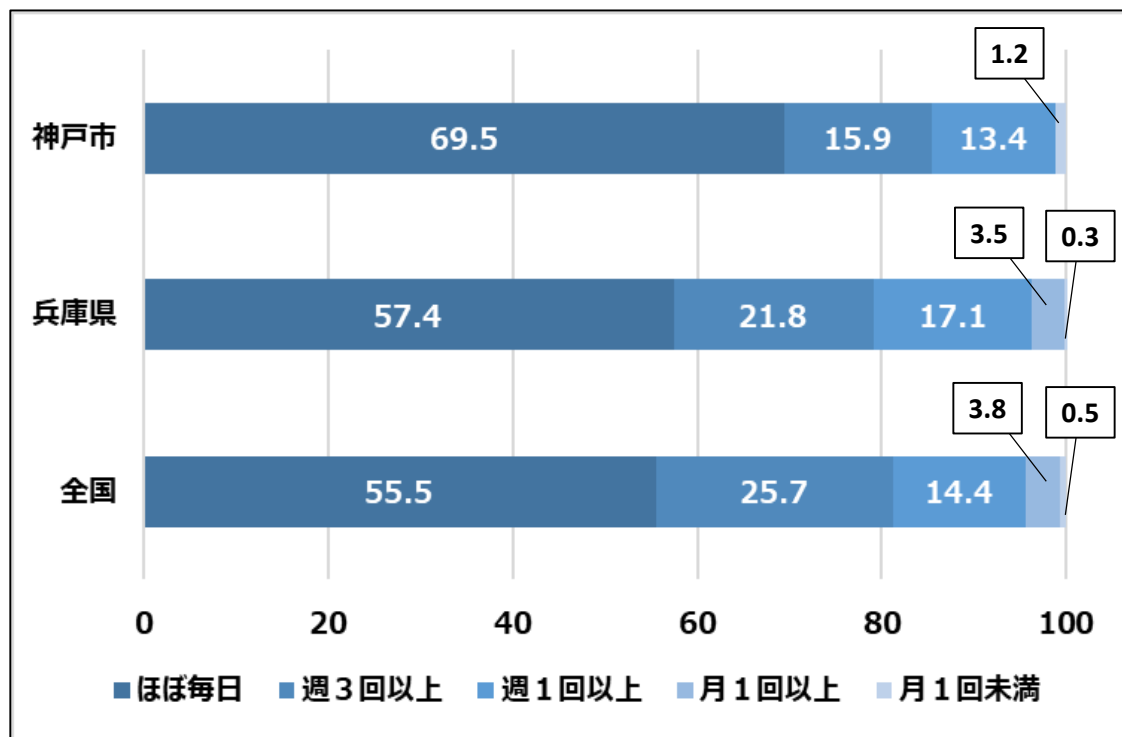


（全国学力・学習状況調査より）

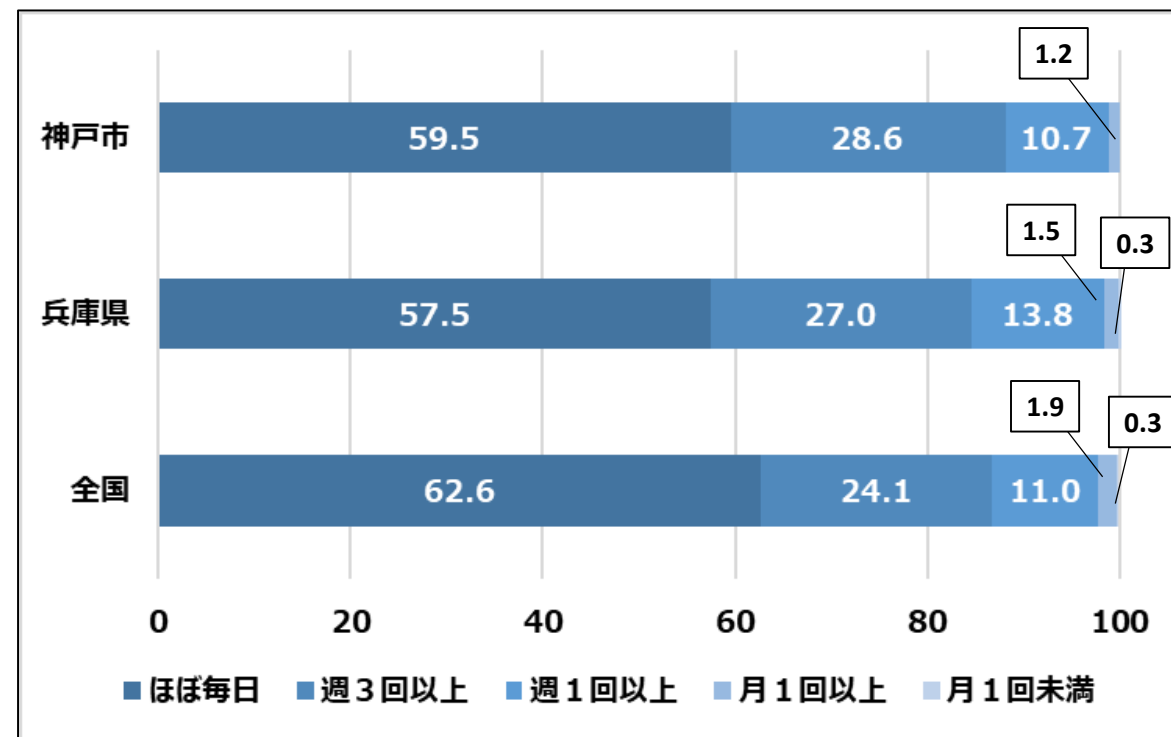
授業での学習用パソコンの活用状況

前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業での程度活用しましたか。（中学校・学校回答）

【R4年度調査】



【R5年度調査】

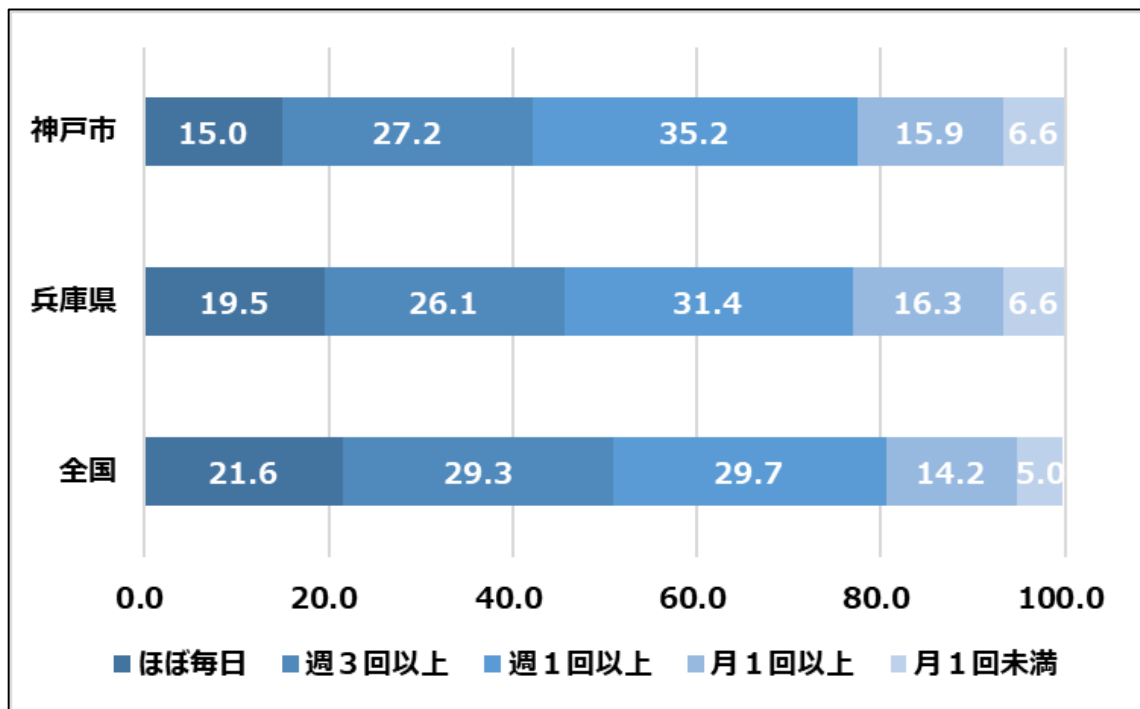


（全国学力・学習状況調査より）

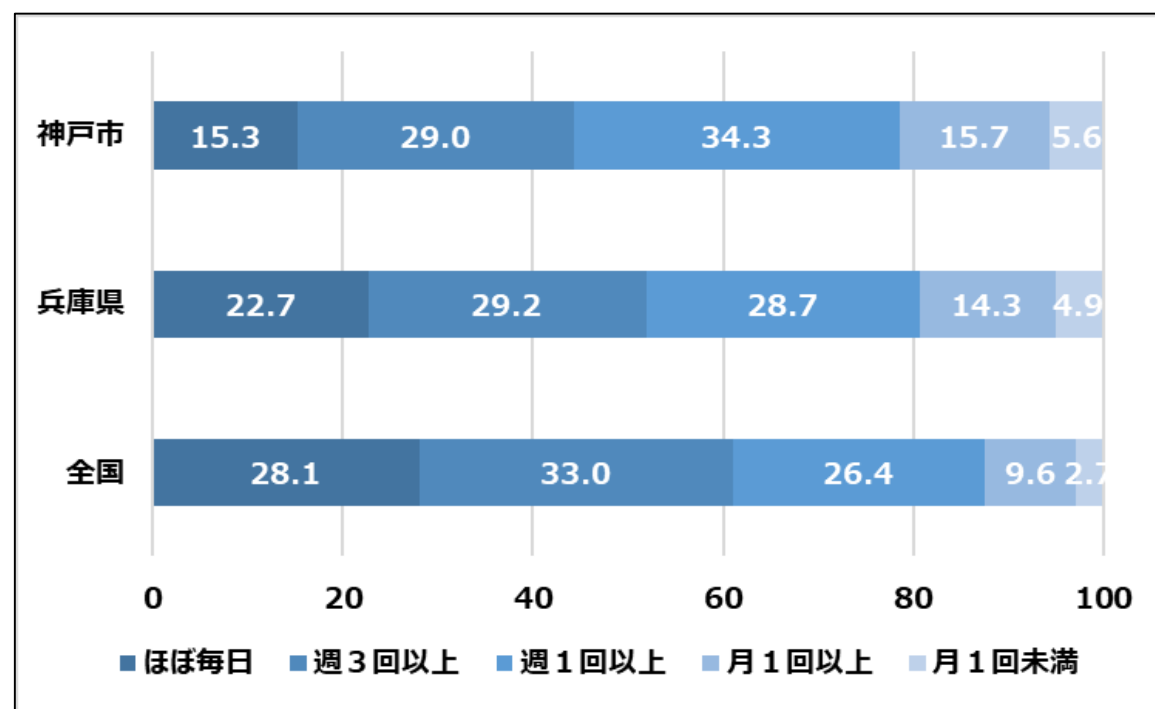
授業での学習用パソコンの活用状況

1・2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。（中学校・生徒回答）

【R4年度調査】



【R5年度調査】



（全国学力・学習状況調査より）

授業での学習用パソコンの活用状況

5年生（1・2年生）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。（児童生徒回答）

週3回以上活用していると回答した児童生徒の割合（%）

小学校（全国平均62.4%）

全国平均以上	：	34校	／	163校
20%～全国平均未満	：	122校	／	163校
20%未満	：	7校	／	163校

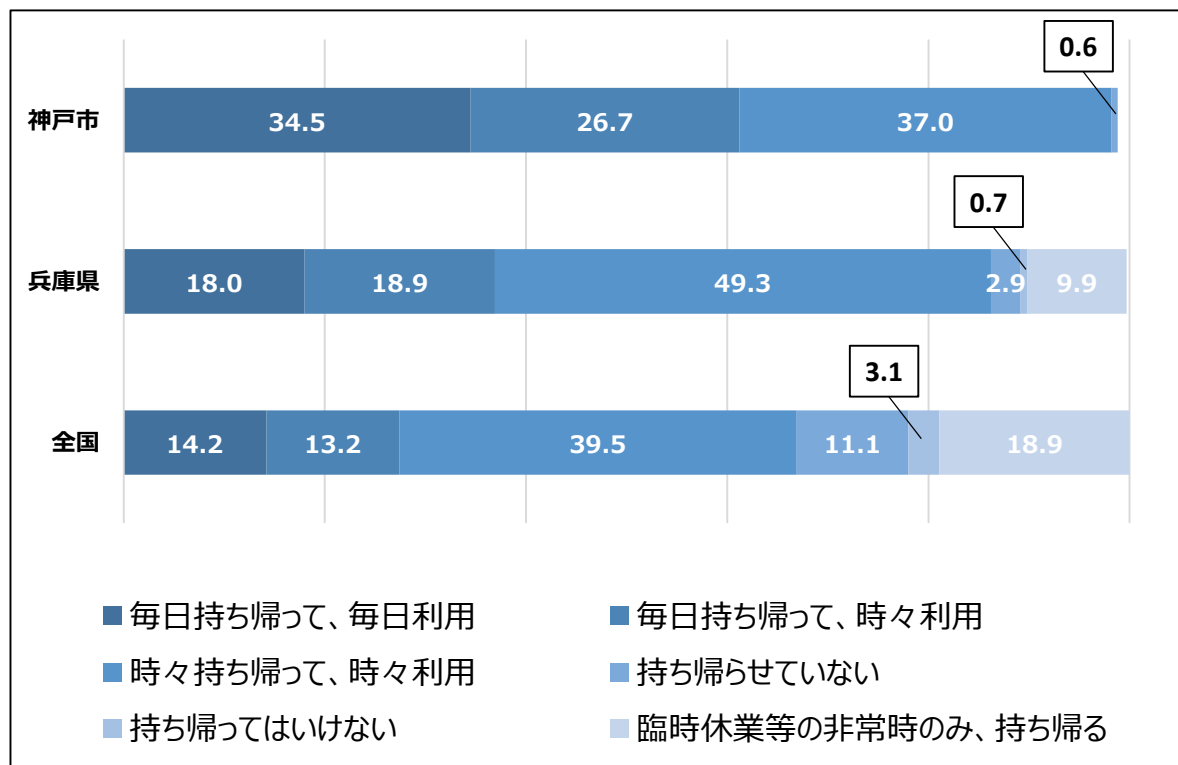
中学校（全国平均61.1%）

全国平均以上	：	23校	／	82校
20%～全国平均未満	：	41校	／	82校
20%未満	：	18校	／	82校

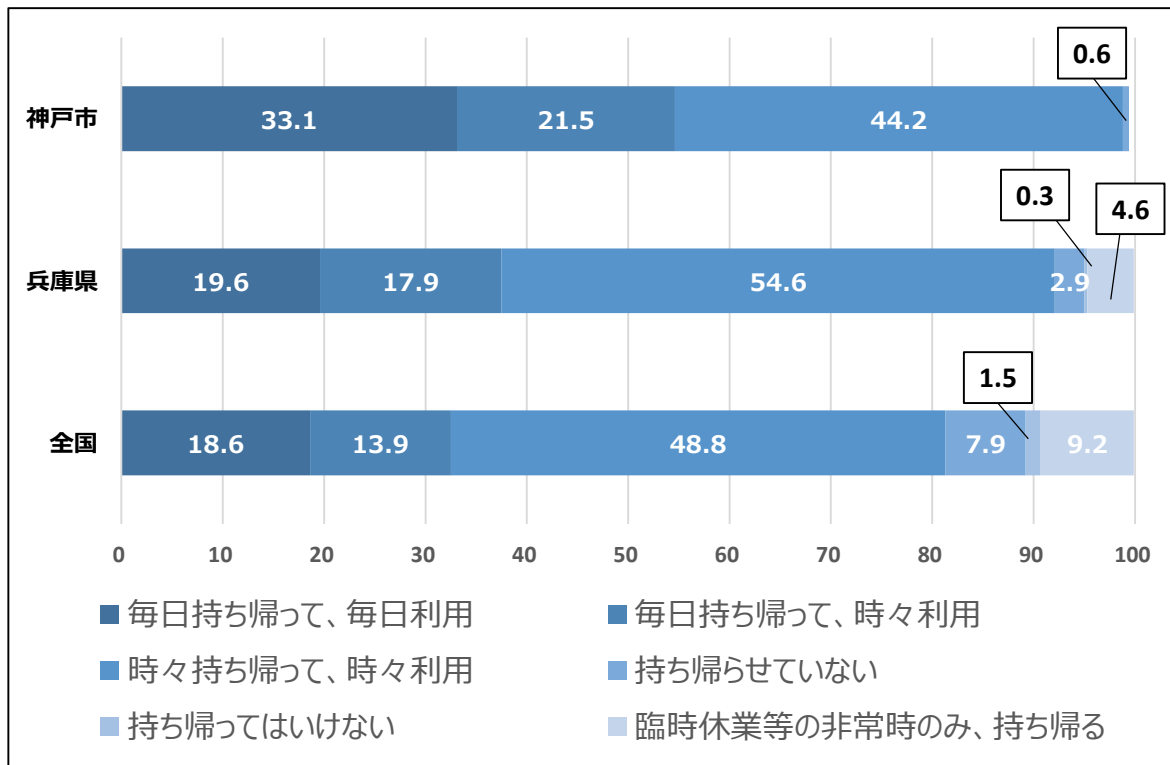
家庭での学習用パソコンの活用状況

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか（小学校・学校回答）

【R4年度調査】



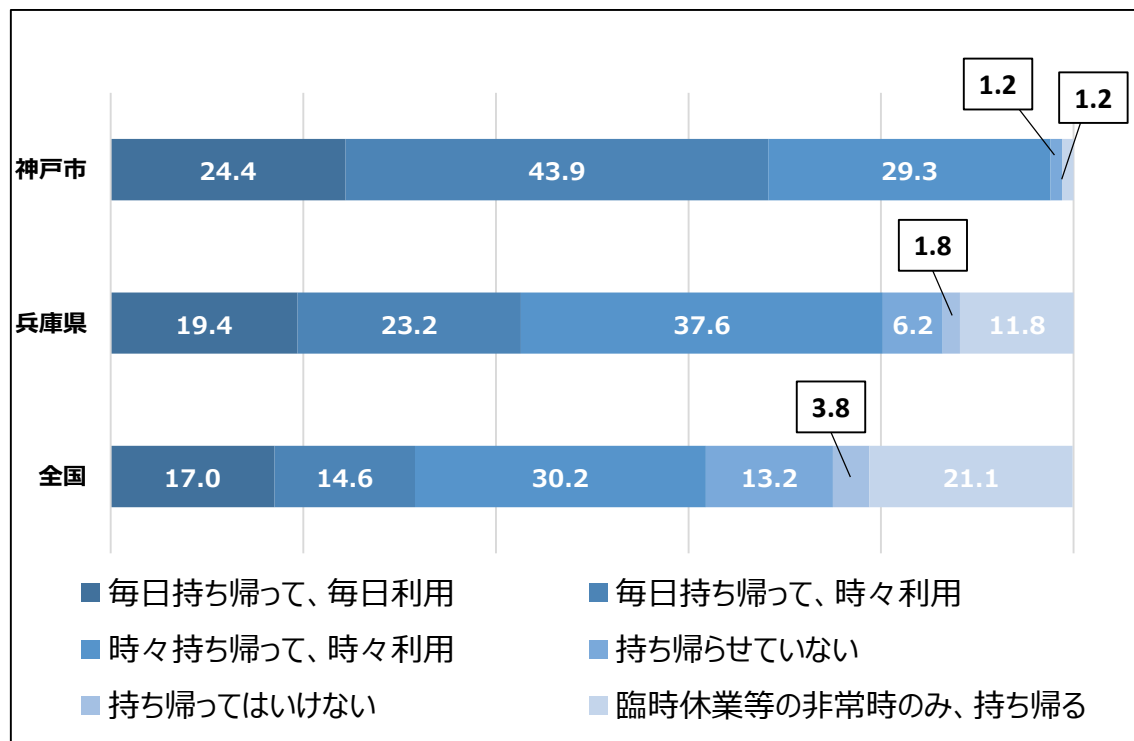
【R5年度調査】



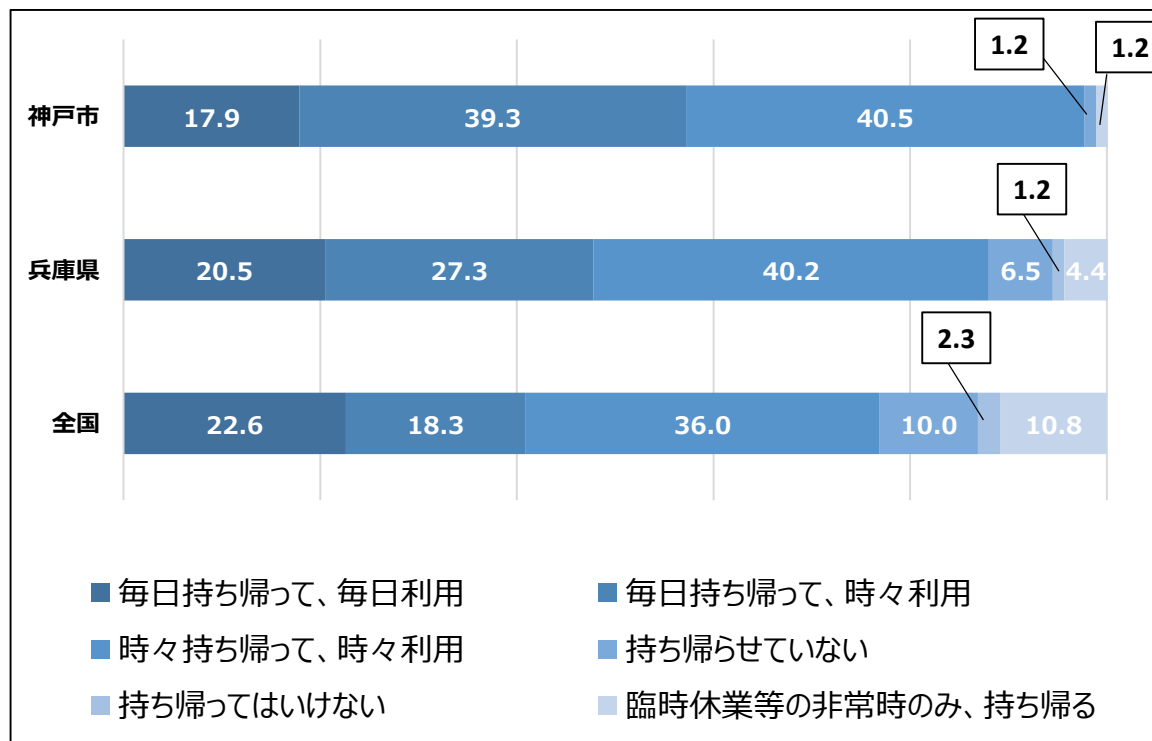
家庭での学習用パソコンの活用状況

生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか（**中学校・学校**回答）

【R4年度調査】



【R5年度調査】



（全国学力・学習状況調査より）

課題

✓ 授業での活用

授業での活用率が向上しておらず、要因・理由をしっかりと把握する必要がある。

✓ 学校間の格差

学校間で大きな差がある。

管理職の意識の差や推進するスキルのある教員の有無が原因の一つとして考えられる。

✓ 教員の授業・指導に対する意識

協働的な学びの場面において活用が進んでいないことから、これまで培ってきた授業スタイルを変えられていないと思われる。

✓ 家庭での活用

持ち帰らせる場合は適切な課題を与え、効果的に活用する必要がある。



課題解決に向けて

- ✓ PTを設置し、課題の原因分析と対応策の検討
- ✓ 活用率の低い学校への個別指導
- ✓ 全校長に向けた訓示・学習用パソコンの活用事例の研修



(参考) 生成AIについて

◆ 文部科学省通知（令和5年7月4日）

- ・ 生成AIの仕組みを理解し、使いこなすための力を育てていく姿勢は重要であるが、様々な懸念があることも踏まえ、活用にあたっては、児童生徒の発達の段階を十分に考慮する必要がある。
- ・ 現時点では限定的な利用から始めることが適切である。
(パイロット的な取り組み)
- ・ 学校外で使われる可能性を踏まえ、全ての学校で、情報活用能力を育む教育活動を一層充実させる必要がある。
- ・ 教員のAIリテラシー向上や働き方改革につながる取り組みの推進が必要である。



(参考) 生成AIについて

◆ 神戸市教育委員会通知（令和5年7月14日） ※学習用パソコンでの利用は不可

< 児童生徒向け >

文科省通知に基づき、長期休業中における生成 AI の利用に関して指導を実施

< 保護者向け >

生成AIの利用に関する留意点をお知らせ

◆ 今後の動き

< 高等学校 >

パイロット校において試行実施

< 小・中学校 >

使用は当面見合わせ



(参考) 学習用パソコンを活用した情報活用能力の育成

学習用パソコンを活用した情報活用能力の体系表

令和5年2月版

		1-2年	小学校 3-4年	5-6年	中学校 1-3年
基本操作	目的	コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作、電子ファイルの呼び出しや保存などができる	キーボードによる文字の正しい入力、電子ファイルの検索、インターネット上の情報の閲覧・検索などができる	キーボードによる文字の正確な入力、電子ファイルの管理、目的に応じたアプリケーションの選択と操作、電子の情報伝送などができる	キーボードによる十分な速さで正確な文字の入力、電子ファイルの運用、目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作、クラウドを用いた協働作業などができる
	活用例	体験や活動から疑問を持つ	収集した情報から課題を見つける	問題を焦点化する	問題の解決に向けて、条件を整えて計画を立てる
課題の設定	目的	体験や活動から疑問を持つ	収集した情報から課題を見つける	問題を焦点化する	問題の解決に向けて、条件を整えて計画を立てる
	活用例	・カメラ機能を使って、写真を撮る ・SKYMENU Cloudを使って共有された資料から疑問を持つ	・インターネットで検索する ・SKYMENU Cloudを使って共有された資料から課題を見つける ・Teamsを使って共有された資料から課題を見つける	・インターネットで検索する ・Teamsを使って共有された資料を調べ ・Formsを使いアンケートを実施する	・インターネットで検索する ・Teamsを使って共有された資料を調べ ・Formsを使いアンケートを実施する
情報の収集	目的	身近なところから課題に関する様々な情報を収集する	調査や資料等から情報を収集する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組み合わせながら情報収集する	調査を設計し、情報メディアの特性を踏まえて、効果的に情報検索・検証する
	活用例	・カメラ機能を使って、写真を撮って情報を集める ・SKYMENU Cloudを使って共有された資料から情報を集める	・インターネットで検索する ・SKYMENU Cloudを使って共有された資料から情報を集める ・Teamsを使って共有された資料から情報を集める	・インターネットで検索する ・Teamsを使って共有された資料から情報を集める ・Formsを使いアンケートを作成し、情報を収集する	・インターネットで検索する ・Teamsを使って共有された資料から情報を集める ・Formsを使いアンケートを作成し、情報を収集する ・Teamsの共同編集機能を使って、情報の考えを収集する
整理・分析	目的	簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて、情報を整理する	簡単な表やグラフ等を用いて情報を整理したり、新たな考えや意味を見出したりする	目的に応じた表やグラフを選択・活用し情報を整理したり、解決策を考察したりする	目的や状況に応じて統計的に整理したり、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する解決策を明らかにしたりする
	活用例	・SKYMENU Cloudの発表ノートを使って、写真やイラストなどを動かしたり、書き込んだりすることで情報を整理する	・SKYMENU Cloudの発表ノートを使って、自分の考えを入力して、情報を整理したり、分析したりする ・動画や音声を使って、分析する	・SKYMENU Cloudの発表ノートとグループワーク機能を使い、グループの仲間とともに、情報を整理したり、分析したりする ・Wordを使って、情報を整理したり、分析したりする	・SKYMENU Cloudの発表ノートと思考テンプレートを組み合わせて、情報を整理したり、分析したりする ・Teamsの共同編集機能を使い、グループの仲間とともに、情報を整理したり、分析したりする
まとめ・表現	目的	自分の言葉でまとめ、相手に意思し、わかりやすく表現する	表現方法を相手に合わせて選択し、相手に目的に応じ、自分の情報を組み合わせて適切に表現する	目的や意図に応じて表現し、聞き手とのやり取りを含めて効果的に表現する	目的や状況に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーションなどによって表現・発表、創造する
	活用例	・自分で撮った写真を発表する ・SKYMENU Cloudの発表ノートを使って発表する	・SKYMENU Cloudの発表ノートやシンププレゼン機能を使って自分の考えをまとめて発表する	・SKYMENU Cloudの発表ノートとグループワーク機能を使い、グループの仲間とともに考えをまとめて発表する ・Wordを使って、自分の考えをまとめて発表する ・PowerPointを使って、自分の考えをまとめて発表する	・Teamsの共同編集機能を使い、グループの仲間とともに考えをまとめる ・PowerPointを使って自分の考えをまとめて発表する
振り返り・改善	目的	真身に気付くことができる	どのように改善していけばいいか考える	改善点を論理的に考える	どのように改善していけば、より意図した活動に近づけるのか論理的に考える
	活用例	・ノートなどに書いた振り返りやカメラで撮って保存する ・SKYMENU Cloud発表ノートを使って、学習の記録を残す	・SKYMENU Cloudの発表ノートを使って、自分の考えを入力して振り返る	・Formsを使って、学習を振り返る ・Teamsの課題機能を使って、振り返りを提出する	・Formsを使って、学習を振り返る ・Teamsの課題機能を使って、振り返りを提出する
情報モラル・情報セキュリティ		情報モラル・情報セキュリティについては、「情報モラル指導の手引き」をご参照ください。			

※参考資料：「学習の基礎となる基礎・能力としての情報活用能力の育成」（令和2年3月）文部科学省
「情報活用能力を高める実践ガイドライン」（令和4年3月）日本経済新聞社（改訂版）

学習用パソコンを活用した情報活用能力の体系表

令和5年2月版

		小学校			中学校
		1-2年	3-4年	5-6年	1-3年
情報の収集	目的	身近なところから課題に関する様々な情報を収集する	調査や資料等から情報を収集する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組み合わせながら情報収集する	調査を設計し、情報メディアの特性を踏まえて、効果的に情報検索・検証する
	活用例	・カメラ機能を使って、写真を撮って情報を収集する ・SKYMENU Cloud等を使って共有した資料から情報を収集する	・インターネットで検索する ・SKYMENU CloudやTeams等を使って共有した資料から情報を収集する	・インターネットで検索する ・Teams等を使って共有した資料から情報を収集する ・Forms等を使いアンケートを作成し、情報を収集する	・インターネットで検索する ・Teams等を使って共有した資料から情報を収集する ・Forms等を使いアンケートを作成し、情報を収集する ・Teamsの共同編集機能等を使って、仲間の考えを収集する
整理・分析	目的	簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて、情報を整理する	簡単な表やグラフ等を用いて情報を整理したり、新たな考えや意味を見出したりする	目的や状況に応じて統計的に整理したり、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する解決策を明らかにしたりする	目的や状況に応じて統計的に整理したり、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する解決策を明らかにしたりする
	活用例	・SKYMENU Cloudの発表ノート等を使って、写真やイラストなどを動かしたり、書き込んだりすることで情報を整理する	・SKYMENU Cloudの発表ノート等を使って、自分の考えを入力して、情報を整理したり、分析したりする ・動画や音声を記録して、分析する	・SKYMENU Cloudの発表ノート等を使って、自分の考えを入力して、情報を整理したり、分析したりする ・動画や音声を記録して、分析する	・SKYMENU Cloudの発表ノートと思考テンプレート等を用いて、情報を整理したり、分析したりする ・WordやExcel等を使って、情報を整理したり、分析したりする ・Teamsの共同編集機能等を使い、グループの仲間とともに、情報を整理したり、分析したりする